



ホームページアドレス <https://www.kk-mitsuboshi.co.jp>

株主様アンケートご協力のお願い

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。
(所要時間は5分程度です)

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(QUOカードPay500円)を進呈させていただきます

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です

①下記URLにアクセス ②アクセスコード入力後にアンケートサイトが表示

 <https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 5820

.....以下の方法でもアンケートにアクセスできます.....

 検索窓から

 kabu@wjm.jp ←こちらへ空メールを送信
「件名」「本文」は無記入。アンケートのURLが直ちに自動返信されます。

 スマートフォンから
カメラ機能でQRコード読み取り
QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



本アンケートは、株式会社リンクコーポレートコミュニケーションズの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。 <https://www.link-cc.co.jp>

アンケートのお問い合わせ

「e-株主リサーチ事務局」
MAIL: info@e-kabunushi.com



このマークは、FSC®認証紙と、
環境に優しい植物油インキを使用して印刷しています。



ユニバーサルデザイン(UD)の
考えに基づいた見やすいデザイン
の文字を採用しています。



2023 Business Report

第78期報告書

2022年4月1日～2023年3月31日

証券コード 5820



経営理念

環境・社会の変化を迅速かつ的確に捉え、その変化に伴うニーズに即応する技術開発を通じて、環境・社会に貢献するということをミッションとしています。

その基本に、コンプライアンスの徹底と品質向上・品質管理に尽力してまいります。

電線事業

豊富なノウハウと技術力で
あらゆるニーズにお応えし、
新規分野へチャレンジし続けます

キャブタイヤケーブルをはじめとする各種電線は、天然ゴム・合成ゴム・プラスチックなどを主原料としています。素材の特性を最大限引き出し、より高い信頼を獲得し、業界トップシェア、高品質、多彩なノウハウを生かした技術力で社会に貢献しています。



ポリマテック事業

お客様との共同開発で高付加価値製品を創造

ポリマテック事業ではお客様からの商品企画について、その構想段階から製品設計、試作などの共同開発を行い、製品を納入するという受注生産を基本としてお客様と共に歩む姿勢を貫いています。主製品としては建築用ガasket類・手摺り・配線カバー・幅木などで、施工性の良さと品質面等で高い評価を得ています。また、環境対応というテーマからバイオプラスチックの製品化とプラスチック廃材の再生利用や抗菌・抗ウイルスなどへの対応製品にも力を入れ取り組んでおり、社会的貢献の面からもその役割は重要なもので、更なる取り組みを推進しています。



電熱線事業

「よい製品で社会に貢献」
高品質の製品とサービスを提供いたします

電熱線、抵抗線で線径0.04mmまでの極細線を量産製造し、品質面および技術面、対応力をお客様から高い評価をいただいております。伸線および圧延のコア技術を多角的に展開し、長年培ってきたノウハウ、品質保証体制、供給体制によりカーボンニュートラル時代を支える製品として、世に送り出しています。その用途は幅広く、白物家電、住宅設備機器、産業機器や自動車、電気自動車など社会を支える部品として多くの製品に採用されています。



株主の皆様へ

To Our Stockholders

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申しあげます。

さて、当社グループ第78期(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

の事業の概況をとりまとめましたので、ご報告申しあげます。

代表取締役社長 青木 邦博



Q 事業の概況を教えてください

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症における行動制限の緩和などにより社会経済活動に回復の動きが見受けられるものの、新型コロナウイルス感染症の再拡大、ウクライナ情勢による資源価格の高騰や供給面での変動に加え、急激な円安などの為替変動の懸念により、依然として景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社グループに関連する事業環境におきましては、設備投資においては持ち直しの動きがみられ、公共投資は底堅い動きとなりましたが、電線事業の業界およびポリマテック事業の業界におきましては材料価格の高騰や銅価格の変動の影響を受け厳しい状況が続いております。一方で、電熱線事業は引き続き産業用ロボット向け抵抗器など抵抗器向け需要を中心に好調に推移しておりましたが、その後、世界経済の失速や在庫調整の動きが出始めたことで需要が落ち込みました。

このような状況の中、当社グループにおきましては、ESG(環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance))を経営方針の中核に据え、4S(新)運動(新分野開拓・新製品創出・新顧客増強・新グローバル戦略推進)を推進し、中長期的、

持続的な成長を目指しております。環境面では、風水害や地震の防災・災害復旧工事、海洋汚染問題対策などを、社会面では少子高齢化問題解決に資する自動化・ロボット化や老朽化した設備のメンテナンス対応などを、ガバナンス面では経営の透明性やリスク管理の徹底などを重視した経営を行い、今後成長が見込まれる新たな分野開拓を行ってまいりました。

利益面におきましては、材料価格の高騰や銅価格の変動により、前年同期比で売上高は増加したものの、営業利益と経常利益に影響が出ております。また、株主提案対応費用や訴訟関連損失として特別損失が発生したため親会社株主に帰属する当期純損失となりました。

その結果、当連結会計年度における売上高は9,946百万円(前年同期比8.3%増)、営業利益は155百万円(前年同期比34.5%減)、経常利益は204百万円(前年同期比32.3%減)、親会社株主に帰属する当期純損失は68百万円(前年同期は親会社株主に帰属する当期純利益281百万円)となりました。

Q 対処すべき課題を教えてください

今後の見通しにおきましては、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくこと

が期待されますが、世界的な金融引締めによる海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスク、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動などにより、先行き不透明な状況で推移するものと思われます。

こうした中、当社グループでは、2026年3月期を最終年度とする中期経営計画を策定し、持続可能な成長トレンドを目指してまいります。

電線事業におきましては、ロシアのウクライナ問題の長期化や欧米を中心とした海外景気への減速への懸念、資源価格の高騰による企業業績の下押し、部品不足による生産制約の問題などがありますが、新型コロナウイルス感染症の状況に左右されないアフターコロナ期に移行し、設備投資の再開など前向きな投資が穏やかに増加すると予測されますので、対面での営業活動を一層活発化することで顧客情報を収集し、案件獲得の取り組みの行動を強化してまいります。

また、当事業に関連の深い公共事業においては前年とほぼ同水準が見込まれており、当社の強みである海洋、河川土木などで使用できる水回り製品(フロートケーブル、ED-CVなど)を中心に継続した販路開拓に行動力強化を図ってまいります。そして、工場においては仕入材料のコストダウンおよび生産性向上により製造原価の低減を図り、製販一体となって利益額の確保を目指します。今後も営業・工場・技術の各部門連携を強化し製品開発・新分野開拓を行い、社会に貢献できる物作りに取り組んでまいります。

ポリマテック事業におきましては、業績に影響する新設住宅着工戸数は2022年度と同程度と見込まれます。

また、新築住宅は価格高騰を背景に低水準で推移すると見られますが、低金利が続く環境を背景に消費者の購買意欲が底堅く、合わせて中古戸建への住み替えによるリフォームおよびエクステリア部材の増加が見込まれます。

高機能チューブにおきましては、2023年度の上期は海外メーカーの在庫調整の影響による受注減が見込まれますが、下期は前年並みの売上増加を見込んでおり、同時に材料供給不安を解消するための新製品開発を進めてまいります。

原材料の値上げ、副資材、運送費の更なる値上げが予測される環境の中、値上げ活動による適正価格での販売と顧客への安定供給を進めてまいります。

このような市場環境の中、営業では住宅建材業界に限らず積極的に新規開拓活動を行い、情報収集と案件獲得に努めてまいります。製造では効率生産、ロス材料の再利用など、ムリ・ムダ・ムラの排除を徹底し原価低減に努め、物流拠点の見直しを行い物流費の低減にも努めてまいります。製品開発では環境配慮型の材料を使用し、環境にこだわった製品開発を進めてまいります。

電熱線事業におきましては、主要な市場である白物家電分野は、コロナ禍での「巣籠り需要」一巡に加え、インフレによる買控えが見込まれる中、市場成長が鈍化する恐れがあります。抵抗器など電子部品分野は、短期的には景気後退によるPCやスマートフォンの需要縮小から、市場成長の停滞が継続する懸念があります。このように足元におきましては予測を許さない厳しい状況が続くと予想されますが、長期的には、カーボンニュートラルの進展を背景に、自動車のEV化および電装化に伴う電子部品などの搭載点数の増加が期待される車載向けや工場自動化を背景とした産業機器向けにおける一段の需要拡大によって、市場規模は拡大傾向で推移すると予想されます。電気制御に必要な抵抗器や電熱機器の需要も同様に今後も拡大が続くものと思われます。拡大が見込めるマーケットでの新規開拓を進めるとともに、そのための取扱銅種および関連部材の取扱拡大に引き続き注力するとともに、品質および信頼性の向上や生産性向上と原価低減を図り、業績の向上に努めてまいります。

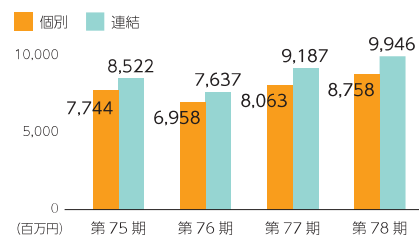
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申しあげます。

2023年6月

財務ハイライト

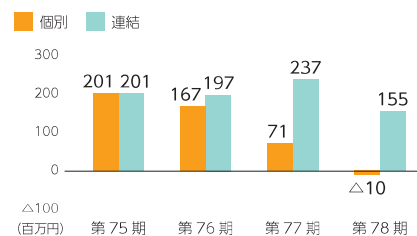
Financial Highlights

売上高



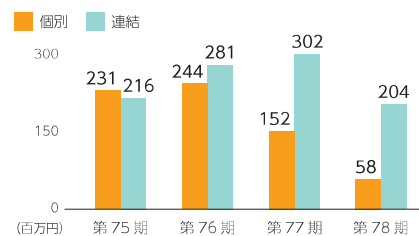
グループ全体で増加したため、前年同期に比べ増加となりました。

営業利益又は営業損失(△)



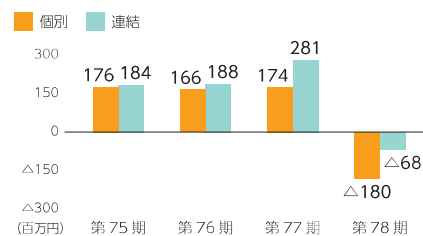
グループ全体で減益となったため、前年同期に比べ減益となりました。

経常利益



グループ全体で材料価格の高騰や銅価格の変動により、前年同期に比べ減益となりました。

当期純利益又は当期純損失(△)および親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)

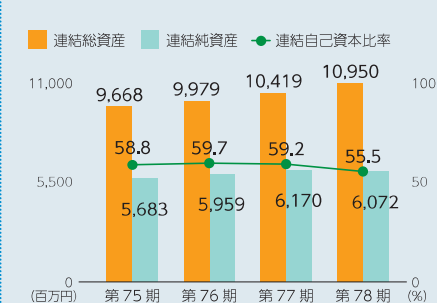


株主提案対応費用や訴訟関連損失として特別損失が発生したため当期純損失および親会社株主に帰属する当期純損失となりました。

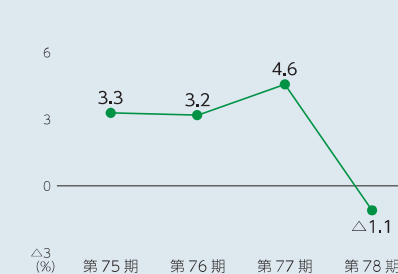
連結1株当たり当期純利益又は連結1株当たり当期純損失(△)



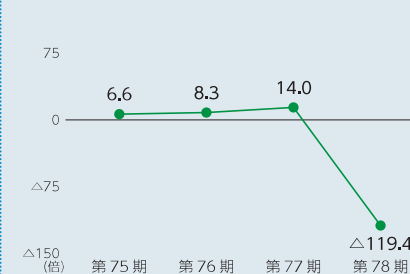
連結総資産／連結純資産／連結自己資本比率



連結株主資本利益率(ROE)



連結株価収益率(PER)



事業別の概況

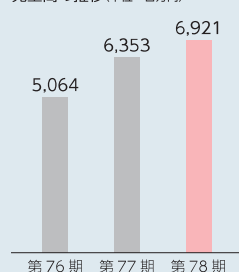
Segment Information

電線事業

業界トップシェアを誇る[キャブタイヤケーブル]

600V以下の移動用電気機器、配線などに使用されるキャブタイヤケーブルを主製品とし、その他多目的産業用キャブタイヤケーブル、溶接用ケーブルなど、産業用電線なら三ツ星という定評をいただいております。

売上高の推移(単位: 百万円)



売上高

6,921 百万円 対前期比 9.0%増

営業利益

69 百万円 同 48.9%減

電線事業の主要な市場である建設・電版は、政府による行動制限の緩和により、経済活動の正常化が進化したものの、歴史的な高インフレにより欧米など多くの国、地域では厳しい金融引き締め、ウクライナ情勢による物価高騰や物資不足、そして工事業者の人員不足などの影響により電線市場も一部を除いて回復ペースは低調な状況でありました。

販売量におきましてはプラスチック電線が大きく減少しましたが、国内銅価格は1,209千円/トン(期平均)と高値で推移したことで、売上高は6,921百万円となりました。

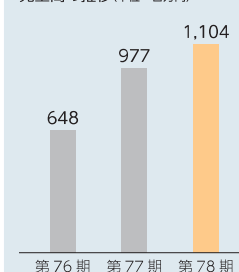
利益面におきましては、原材料価格の値上がりおよび電気料金の値上げなどによる動力費の増加のため、ユーティリティ価格などの諸費用の価格転嫁、高付加価値製品の販売強化、継続的な経費削減に取り組みましたが、海外子会社からの仕入による為替の影響、他社との競合などにより営業利益は69百万円となりました。

電熱線事業

伸線・圧延技術力を活用した事業展開

どこ家庭にもあるヘアドライヤーやアイロン、冷蔵庫、テレビといった家電製品向け製品のほか、自動車のシガレットライターや高圧ケーブル、電子機器向けの製品を開発するなど、幅広い分野での活用が期待されます。

売上高の推移(単位: 百万円)



売上高

1,104 百万円 対前期比 12.9%増

営業利益

89 百万円 同 8.4%減

電熱線事業に関連する経営環境におきましては、年度上期は半導体不足など部品不足の影響による減産、上海ロックダウンの影響による生産調整の動きなどが見られましたが、このようなサプライチェーンの混乱対策として在庫積み増しの動きが強まったことや抵抗器向け需要が堅調に推移しました。年度下期は、歴史的な物価高、急速な利上げ、中国のロックダウン、資源高などにより世界経済の失速感や不透明感が強くなる中、供給網混乱対応として積み上げた過剰在庫を調整する動きが表面化し、受注環境は厳しいものとなりました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大前に比べて、抵抗器向け受注を中心に業績のペースが底上げされたことや、競合他社との差別化戦略により新規開拓やシェアアップに繋げた結果、売上高は1,104百万円となりました。

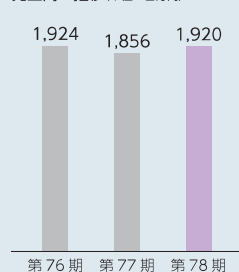
利益面におきましては、受注環境が厳しい中において、比較的付加価値の高い銅種や極細線製品および帯製品の受注は比較的好調に推移しました。主要原材料であるニッケル価格の高騰や諸資材の値上げを背景に、価格転嫁するべく値上げを実施しましたが、値上げ前の駆け込み受注の影響や、子会社設立50周年行事などの費用発生もあり、営業利益は89百万円となりました。

ポリマテック事業

オフィスから暮らしまで、幅広いニーズと市場

住宅建材からOA機器分野、産業資材分野まで、省コスト仕上げの高品質により高い評価を得ております。木材複合樹脂やプラスチック廃材を再生利用した製品は、これからの環境対応というテーマから、バイオプラスチックの製品化も注目されております。

売上高の推移(単位: 百万円)



売上高

1,920 百万円 対前期比 3.5%増

営業損失

2 百万円 同 -

ポリマテック事業に関連性のある新設住宅着工戸数は賃貸住宅の着工戸数が増え86万戸となりました。年度下期より受注状況が回復した土木工事関連部材は堅調に推移し、業務体制の見直しの影響を受けたオフィス関連部材も下期に持ち直しましたが年間を通して低調な市況の影響と新規顧客獲得および既存顧客での拡販案件獲得も売上の底上げには繋がっていませんでした。一方で材料価格および電気料金の値上げ分を価格転嫁したことにより、売上高は1,920百万円となりました。

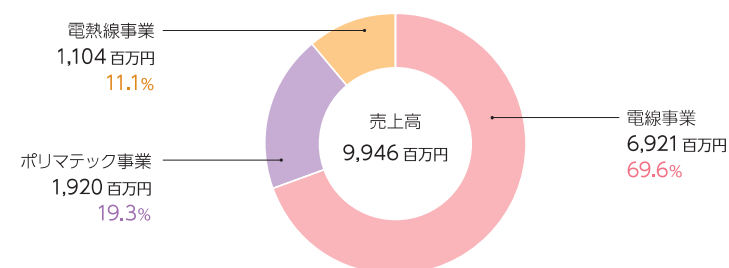
過去に獲得した新規顧客の売上も業績に貢献し始め、当期は建材分野以外の新規顧客も獲得し、取引業界が広がりました。

高機能チューブにおきましては、海外向けチューブが好調で当期も安定した売上を計上しました。なお、2025年に海外メーカーのフッ素樹脂生産打ち切りという課題はありますが、来期中に代替え材料での顧客承継を目指しております。

製造ではロス材料の有効活用、歩留まり率向上に向けた金型メンテナンスなどを実施し効果が始まっております。

利益面におきましては、生産性の改善、コスト削減と製品価格の値上げに取り組みましたが、電気料金値上げの影響が大きく、併せて原材料・副資材・運送費の度重なる値上げの影響を受け営業損失は2百万円となりました。

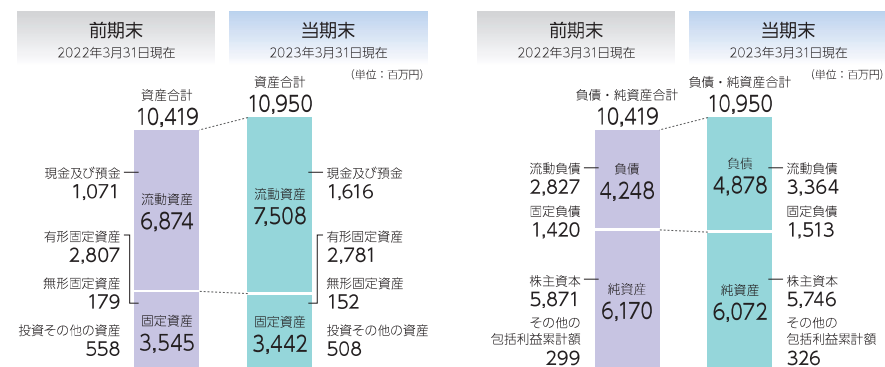
売上高構成比



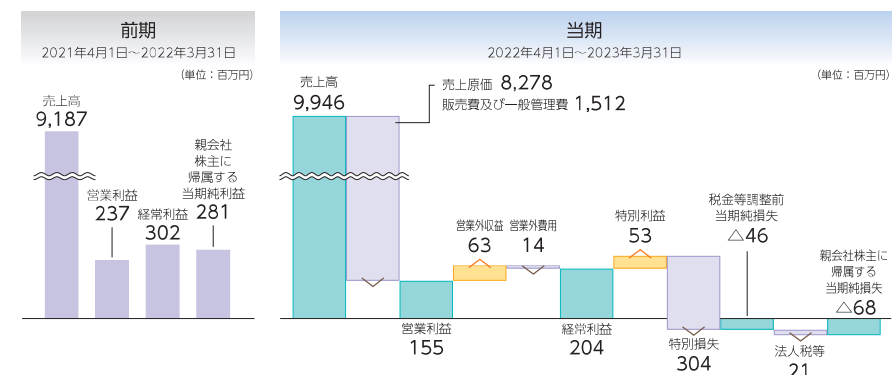
連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

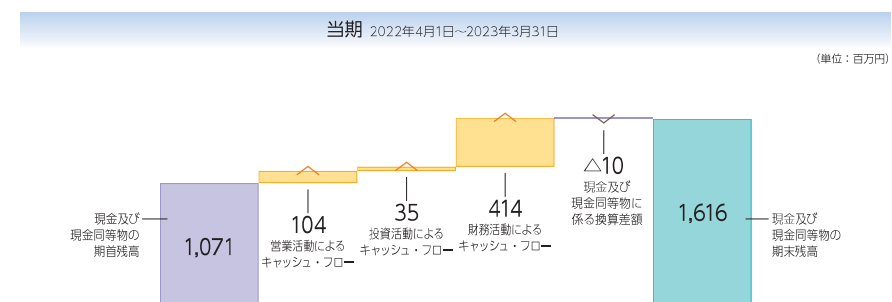
■ 連結貸借対照表



■ 連結損益計算書



■ 連結キャッシュ・フロー計算書



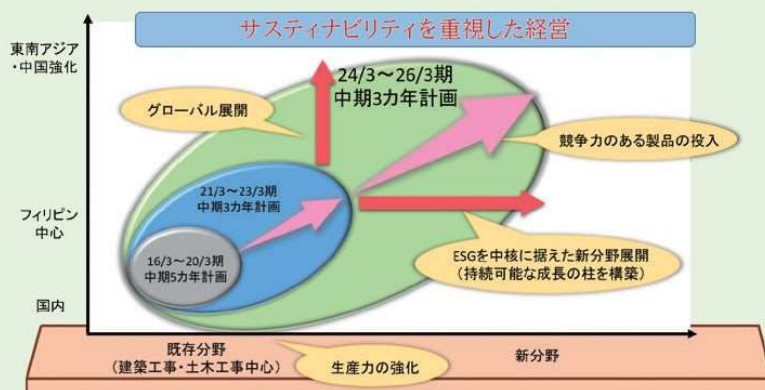
ポイント解説

- 総資産額
前期末に比べ5億31百万円増加し、109億50百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加によるものです。
- 負債総額
前期末に比べ6億29百万円増加し、48億78百万円となりました。これは主に、短期借入金増加によるものです。
- 純資産総額
前期末に比べ98百万円減少し、60億72百万円となりました。これは主に、利益剰余金の減少によるものです。

1. 2024年3月期～2026年3月期 中期経営計画

中期経営計画の概要

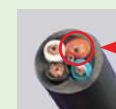
当社グループは、2016年3月期から2020年3月期は中期5か年計画として経営基盤の強化を行ってまいりました。2021年3月期から2023年3月期は中期3か年計画として4S(新)運動展開を実施してまいりました。2024年3月期から2026年3月期は中期3か年計画として持続的成長の確立のため、生産力の強化を図ると共に4S(新)運動の更なる強化を図ってまいります。中期経営計画の最終年度である2026年3月期の経営目標数値としましては、連結売上高11,500百万円、連結経常利益350百万円、連結売上高経常利益率3%以上を達成目標としております。



2. 製品のご案内 ～補強材入りケーブルのラインアップ充実～

(1)炭素繊維ワイヤー入りケーブル

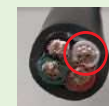
補強材として炭素繊維ワイヤーを採用し極細線との組合せで、従来(自社製品2PNCT 4X5.5mm²)のケーブルに使われる線心と比べ20倍の耐屈曲性能を持ったケーブルです。水中機器用の延長コードやゴンドラなど耐張力が必要な用途で採用されています。



炭素繊維ワイヤーで補強した導体

(2)LCP繊維補強導体入りケーブル

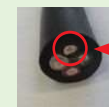
補強材として従来使われているアラミド繊維の1.2倍の強度を持つLCP繊維を使用したケーブルです。工事用の仮設エレベーターなど、高所で耐張力が必要な用途で採用されています。



LCP繊維で補強した導体

(3)アラミド繊維入りケーブル

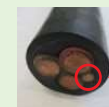
補強材としてアラミド繊維を採用し極細線との組合せで、CT(一般用のキャプタイヤケーブル)の耐屈曲性、耐張力を高めたケーブルです。耐屈曲性や耐張力を必要とする、幅広い用途で採用されています。



アラミド繊維で補強した導体

(4)スズメッキ鋼線入りケーブル

スズメッキ鋼線入り補強導体を採用したケーブルで、CT(一般用のキャプタイヤケーブル)の耐張力を高めたケーブルです。異径サイズのアース線の補強やゴミクレーンなど過酷な用途で採用されています。



スズメッキ鋼線で補強した導体

3. 環境分野への取り組み

(1) 軽石対策

海底火山の噴火により大量に噴出した軽石が沖縄・奄美諸島などに漂着し、大きな社会問題となりました。この軽石を回収するための機械に当社のフロートケーブルを提供しました。



(2) 洋上風力発電(水中ポンプ)

洋上風力発電事業において、浮体式風力発電の設置工事にて当社の製品が利用されました。この工事では、海上に浮いている風車の浮体部分に水を注入し、その重さで風車を起き上がらせるという工程があり、その際に用いる水中ポンプに当社のフロートケーブルが採用されました。



風車設置工事のイメージ図

(3) ホトトギス貝対策

近年、各地の港やその周辺の沖合でホトトギス貝の大量発生による海底環境の悪化が起きています。この問題解決のため、神戸市立工業高等専門学校の小澤研究室のホトトギス貝除去に向けた実証実験に当社はフロートケーブルを提供しました。この実証実験では、同研究室が開発した「小型海底耕運機」が用いられ、当社のフロートケーブルが使用されました。



実際の小型海底耕運機



実験中の様子

4. 健康経営優良法人2023(中小規模法人部門)認定

当社は、日本健康会議において2023年3月8日付で「健康経営優良法人2023(中小規模法人部門)」に認定されました。



当社は「働きやすい職場」「やり甲斐の持てる職場」づくりに取り組み、「従業員のエンゲージメントの向上」を図り、従業員が会社に対する愛着や貢献の意志を深めていただくよう尽力いたします。その前提となるのは従業員の健康増進と思われ、真摯に取り組む所存であります。

コピー待ち時間など
隙間時間に「かかと上下運動」で
血流の改善などを推奨しています。
今後も更新していきます。

手作りポスターで
「隙間時間」での運動の
推進や「禁煙」などを
呼びかけています。

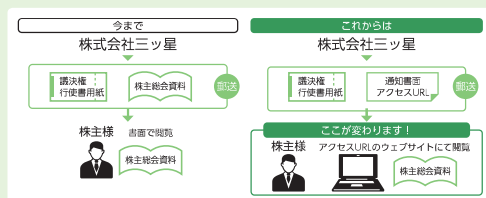


<「健康経営」担当所感>

昨年度「健康経営」の担当となり、何から始めたら良い？からのスタートでした。「健康経営アドバイザー」の資格を人事課スタッフで取得し、コミュニケーションツールを利用した部門間を越えてのコミュニケーション作りから始まり、運動や食事の改善の推進、婦人科検診・PSA検診の補助金の支給、婦人科検診促進の研修会、禁煙などの取り組みにチャレンジしました。「健康」への意識が高くなったと声をかけられるようになり励みになっています。皆さんのご協力をいただき、目標であった「健康経営優良法人」の認定をいただくことができました。今後も従業員皆さんの「エンゲージメントの向上」「環境の良い職場」を目指し取り組んでまいります。

5. 株主総会資料(招集通知)の電子提供制度について

- 会社法改正により、2023年3月以降の株主総会から、株主総会資料(招集通知)は原則ウェブサイト上でご確認いただくこととなりました。



主な変更点

- ・ウェブサイトへのアクセス方法などを記載した招集通知(通知書面)をお送りします。
- ・株主総会資料の全文はウェブサイトにてアクセスすることで確認できます。
- ※議決権行使書用紙は原則、今まで通りお送りします。

- インターネットのご利用が困難な株主様は、株主総会資料を書面で受領するための手続き(書面交付請求)をお取りいただくことができます。

Q「書面交付請求」とは？

- A インターネットを利用することが困難な株主様を保護するための手続きです。
お申し出いただいた株主様には株主総会資料を書面でお送りします。
なお、書面交付請求を行わなくても、URLなどを記載した通知書面はお送りします。

Q「書面交付請求」の受付期限は？

- A 株主総会の基準日までにお申し出が必要です。

Q お手続き方法は？

- A 証券会社にお申し出の場合は、保有銘柄の口座を開設している証券会社へお問い合わせください。
株主名簿管理人にお申し出の場合は、書面での受領を希望される銘柄ごとに申出書面のご提出が必要です。

- ⚠ ご注意 一連のお手続きには費用がかかる場合があります。
なお、書面交付請求は一定期間経過後に失効することがあります。

株主総会資料の電子提供に関するお問い合わせ先

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話 0120-533-600 (フリーダイヤル)

受付時間 9:00~17:00(土・日・祝日を除く)

<https://www.smb.jp/personal/procedure/agency/>



株式の状況／会社概要

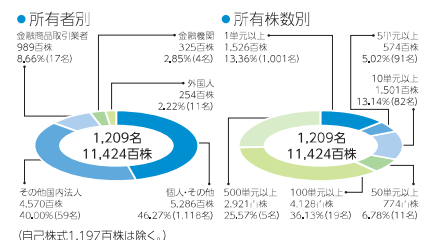
株式の状況 (2023年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 3,800,000株
(注) 2023年3月24日開催の取締役会決議により、2023年4月21日付で株式分割(1株を3株に分割)に伴う定款変更が行われ、発行可能株式総数は7,600,000株増加し、11,400,000株となっております。
- 発行済株式の総数 1,146,898株
(自己株式119,757株を除く)
(注) 2023年3月24日開催の取締役会決議により、2023年4月21日付で株式分割(1株を3株に分割)に伴う定款変更が行われ、発行済株式総数は2,533,310株増加し、3,799,965株となっております。
- 株主数 1,403名
- 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社ルービネスサポート	63,400	5.53
合同会社サクセスインベストメント	62,600	5.46
スリースター有限公司	56,830	4.96
本多敏行	54,700	4.77
アダージキャピタル有限責任事業組合	54,600	4.76
組合員 株式会社シンシア工務店	48,000	4.19
有限会社杉山製作所	41,500	3.62
津田電線株式会社	38,600	3.37
楽天証券株式会社	35,700	3.11
アダージキャピタル有限責任事業組合	25,700	2.24

- (注) 1.上記のほか、当社が自己株式119,757株を保有しております。
2.持株比率は、自己株式を控除して計算しております。
3.2023年4月21日を効力発生日として、当社株式の流動性の向上と投資家層の更なる拡大のため、株式1株につき3株の株式分割を実施しており、同日付をもって発行可能株式総数は11,400,000株、発行済株式の総数は3,799,965株となっております。

株式分布状況 (単元株以上)



主要な事業内容

当社グループは、次の製品の製造・販売および仕入商品の販売を行っております。

事業部門	主 要 品 目
電線事業	天然ゴムキャブタイヤケーブル、合成ゴムキャブタイヤケーブル、架橋ポリエチレンケーブル、溶接用ケーブル、制御用ケーブル、プラスチックキャブタイヤケーブル、プラスチックコード、その他
ポリマテック事業	プラスチック押出成形品、射出成形品、真空成形品、高機能チューブ、LED関連商品、その他
電熱線事業	電熱線・帯、その他

役員 (2023年6月27日現在)

代表取締役社長 青木 邦博

取締役(監査等委員) 渡邊 雅之(社外)

取締役(監査等委員) 加藤 正憲(社外)

取締役(監査等委員) 吉 永 久 三(社外)

- (注) 1.取締役(監査等委員)渡邊雅之氏、加藤正憲氏および吉永久三氏は、社外取締役であります。
2.取締役(監査等委員)渡邊雅之氏、加藤正憲氏および吉永久三氏は、東京証券取引所の定めに基づく独立役員であります。

従業員の状況(当社グループ) (2023年3月31日現在)

(連結) 239名(89名)

(個別) 163名(66名)

(注) 従業員数は従業員数であり、パートおよび嘱託社員は()内に年間の平均人員を外数で記載しております。

ネットワーク (2023年6月27日現在)

Network



本社／大阪支店



九州支店



MITSUBOSHI PHILIPPINES CORPORATION



東京支店
シルバー鋼機株式会社

名古屋支店



工場（ポリマテック事業：大阪府羽曳野市）



工場（電線事業：滋賀県甲賀市）

主要な事業所

当社

本社 〒541-0053
大阪市中央区本町一丁目4番8号
エスリードビル本町5階
TEL 06-6261-8881

電線事業

大阪支店 〒541-0053
大阪市中央区本町一丁目4番8号
エスリードビル本町5階
TEL 06-6261-8884

東京支店 〒103-0014
東京都中央区日本橋蛸殻町一丁目2番1号
リーラック第一ビル6階
TEL 03-6897-8660

九州支店 〒815-0081
福岡市南区那の川一丁目9番19号
TEL 092-526-2615

名古屋支店 〒465-0095
名古屋市中東区高社一丁目253番地
一社プラザ4階402号室
TEL 052-760-4636

工場 〒520-3306
滋賀県甲賀市甲南町柑子1061番地3
TEL 0748-86-6104

ポリマテック事業

大阪支店 〒541-0053
大阪市中央区本町一丁目4番8号
エスリードビル本町5階
TEL 06-6261-8885

東京支店 〒103-0014
東京都中央区日本橋蛸殻町一丁目2番1号
リーラック第一ビル7階
TEL 03-6897-8663

工場 〒583-0867
大阪府羽曳野市河原城534番地
TEL 072-939-4561

シルバー鋼機株式会社

本社 〒103-0014
東京都中央区日本橋蛸殻町一丁目2番1号
リーラック第一ビル7階
TEL 03-5651-7220

MITSUBOSHI PHILIPPINES CORPORATION

フィリピン共和国 LOT11 BLOCK12 FIRST CAVITE
INDUSTRIAL ESTATE BRGY.
LANGKAAN,DASMARINAS,CAVITE,
PHILIPPINES 4114

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	
定時株主総会	毎年3月31日
期末配当	毎年3月31日
株主名簿管理人 および特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪府中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00 (土・日・祝日を除く)
インターネット ホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/

公告方法	電子公告により行います。 ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。 当社の公告掲載URLは次のとおりです。 https://www.kk-mitsuboshi.co.jp
上場証券取引所	東京証券取引所スタンダード市場
証券コード	5820

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。